

理学療法士 専門試験問題

[No. 1] 大脳の領野と部位の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 一次体性感覚野 — 頭頂葉
- 2. 一次聴覚野 — 前頭葉
- 3. 一次嗅覚野 — 側頭葉
- 4. 一次視覚野 — 辺縁葉
- 5. 一次運動野 — 後頭葉

[No. 2] 頭部 MRI 正中矢状断像でみられないのはどれか。1つ選べ。

- 1. 視床下部
- 2. 第四脳室
- 3. 脳梁
- 4. 小脳歯状核
- 5. 橋

[No. 3] ショパール関節を構成しないのはどれか。1つ選べ。

- 1. 舟状骨
- 2. 立方骨
- 3. 距骨
- 4. 第3楔状骨
- 5. 踵骨

[No. 4] 体温上昇に伴う生体反応について正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 気管支収縮
- 2. 立毛筋収縮
- 3. 発汗増加
- 4. 呼吸抑制
- 5. 尿量増加

[No. 5] 免疫系に関与しないのはどれか。1つ選べ。

1. 肝臓
2. 脾臓
3. 骨髄
4. リンパ節
5. 胸腺

[No. 6] 腎臓の尿細管で再吸収されるのはどれか。1つ選べ。

1. クレアチニン
2. ブドウ糖
3. アンモニア
4. イヌリン
5. ミオグロビン

[No. 7] 神経伝導について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 軸索の直径が太いものほど速い。
2. 温度が高い方が速い。
3. 髄鞘のない方が速い。
4. 線維の途中を刺激すると刺激部から両側性に伝導する。
5. 有髄神経では、線維の長短に関わらず、活動電位は変化しない。

[No. 8] 長期臥床による不動化の影響として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 血中カルシウム濃度の低下
2. 循環血液量の増加
3. 筋節長の延長
4. 骨吸収の亢進
5. 関節不安定性の出現

[No. 9] 創傷治癒で癒痕組織の形成に主に関わるのはどれか。1つ選べ。

1. 血管内皮細胞
2. 好中球
3. 線維芽細胞
4. 脂肪細胞
5. メラノサイト

[No. 10] 骨盤の前傾で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 立位では腸腰筋の短縮で増加する。
2. 長座位で増加する。
3. 肥満で減少する。
4. 円背で増加する。
5. 腰椎の前弯増強で減少する。

[No. 11] 肩甲上腕関節の外旋筋はどれか。1つ選べ。

1. 棘上筋
2. 大円筋
3. 大胸筋
4. 棘下筋
5. 肩甲下筋

[No. 12] 足関節から足部について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 内がえしの運動は第2趾の長軸を中心として生じる。
2. 踵腓靭帯は距骨下関節における外がえしを制限する。
3. 後脛骨筋は立位で横アーチの維持に働く。
4. 内がえしには長趾伸筋が関与する。
5. 距腿関節では足関節背屈位で内外転が可能である。

[No. 13] 立位姿勢について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 大腿直筋は持続的に活動する。
2. 重心線は膝蓋骨前面を通る。
3. 立位時に股関節のY靭帯は弛緩する。
4. 頭部の重心線は環椎後頭関節の前方を通る。
5. 矢状面における重心は仙骨の後方に位置する。

[No. 14] 誤っている組合せはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|----------------------|---|-------|
| 1. 踵離地期後の腸腰筋 | — | 求心性収縮 |
| 2. 踵離地直後のヒラメ筋 | — | 求心性収縮 |
| 3. 減速期のハムストリングス | — | 求心性収縮 |
| 4. 踵接地直後の前脛骨筋 | — | 遠心性収縮 |
| 5. 階段を降りる際の支持足の大腿四頭筋 | — | 遠心性収縮 |

[No. 15] 一般的に加齢に伴い増加するのはどれか。1つ選べ。

1. 腺分泌
2. 角膜内皮細胞
3. 腱、靭帯の硬化度
4. ビタミンD
5. α 運動神経細胞

[No. 16] 関節リウマチで障害されにくいのはどれか。1つ選べ。

1. 遠位指節間関節
2. 環軸関節
3. 足根骨間関節
4. 肘関節
5. 手根骨間関節

[No. 17] 多発性骨髄腫に特徴的でないのはどれか。1つ選べ。

1. 圧迫骨折
2. 高カルシウム血症
3. 腎障害
4. 口渇
5. 白血球数の増加

[No. 18] 急性心筋梗塞の発症後の血液検査所見でないのはどれか。1つ選べ。

1. トロポニン I 上昇
2. 乳酸脱水素酵素 (LD) 上昇
3. 白血球数増加
4. クレアチンキナーゼ (CK) 上昇
5. クレアチニン上昇

[No. 19] アテローム (粥状) 硬化が関与する病態はどれか。1つ選べ。

1. 慢性気管支炎
2. 内頸動脈狭窄症
3. 慢性収縮性心膜炎
4. 肝硬変
5. 椎骨動脈解離

[No. 20] 糖質代謝について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 酸化的リン酸化によって乳酸を生じる。
2. 中枢神経系はグルコースをエネルギー源として利用する。
3. 甲状腺ホルモンは糖代謝には関係しない。
4. インスリンはエネルギー遊離に作用する。
5. グルカゴンはエネルギー貯蔵に作用する。

[No. 21] 観念運動失行の検査はどれか。1つ選べ。

1. 「ここはどこですか」
2. 「右手で左耳を触ってください」
3. 「この花の絵と同じ絵を描いてください」
4. 「髪をとくまねをしてください」
5. 「この時計の文字盤に数字を書いてください」

[No. 22] 運動障害と評価方法の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 錐体外路障害 — トレムナー反射
2. 錐体路障害 — Romberg 試験
3. 運動耐容能低下 — 徒手筋力テスト
4. 筋力低下 — 6 分間歩行テスト
5. 運動失調 — 指鼻試験

[No. 23] 肺気腫でみられるのはどれか。1つ選べ。

1. 機能的残気量の減少
2. 二酸化炭素分圧の低下
3. 一秒量の増加
4. 一秒率の増加
5. 最大呼気流量の低下

[No. 24] 脳卒中患者の摂食・嚥下障害で誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 急性期の摂食・嚥下障害は早期に改善する場合もある。
2. 唾液による不顕性誤嚥を防ぐことが重要である。
3. 仮性球麻痺があると生じやすい。
4. 訓練には間接訓練と直接訓練がある。
5. 左側の咽頭麻痺では顔を右に向けて食べさせる。

[No. 25] 疾患と病理変化の組合せで誤っているのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|----------------|---|---------------------|
| 1. アルツハイマー型認知症 | — | 大脳皮質や海馬へのアミロイドβ蛋白蓄積 |
| 2. パーキンソン病 | — | 大脳白質の変性 |
| 3. 筋萎縮性側索硬化症 | — | 脊髓前角細胞の脱落 |
| 4. ハンチントン病 | — | 線条体の変性 |
| 5. 多発性硬化症 | — | 中枢神経の脱髄 |

[No. 26] PTSD（外傷後ストレス障害）について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 周囲のことに無関心になる。
2. 小さな物音にも敏感に反応する。
3. 症状は受傷後1か月以内に改善する。
4. 驚愕反応の亢進が認められる。
5. アルコール乱用の要因となり得る。

[No. 27] 身体活動とMETsの組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|--------------|---|---------|
| 1. 縄跳び | — | 6～7METs |
| 2. 掃除機をかける | — | 5～6METs |
| 3. 庭の草むしり | — | 4～5METs |
| 4. ゴルフ打ちっぱなし | — | 4～5METs |
| 5. 自動車の運転 | — | 3～4METs |

[No. 28] 虚血性大腸炎について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 便秘は誘因とはならない。
2. 発症は高齢者に多い。
3. 初発症状は腹痛であり、血便はみられない。
4. 大半が腸管切除などの手術適応となる。
5. 上行結腸に好発する。

[No. 29] クリニカルパスの利点として誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 計画性のある標準的な医療の提供
2. 診療情報の共有
3. 患者や家族の主体的参加による治療意欲亢進
4. 医療の個別化
5. 業務の効率化

[No. 30] 3歳児の歩行機能を1歳児と比べた時、変化として正しいのはどれか。
1つ選べ。

1. 単脚支持時間は減少する。
2. 重複歩距離は減少する。
3. 歩隔は減少する。
4. 1歩行周期は減少する。
5. 歩行率は上昇する。

[No. 31] 球麻痺と仮性球麻痺の相違について200字以内で説明しなさい。

[No. 32] パーキンソン病の4大症状を200字以内で説明しなさい。

[No. 33] 虚血性心疾患患者における、心臓リハビリテーションの効果について答えなさい。まず、リハビリテーションによって自律神経系と冠動脈にみられる変化について述べ、運動耐容能の指標の変化にも言及し、最後に、期待できる予後について、200字以内で述べなさい。

[No. 34] 完全頸髄損傷の患者に期待できる日常生活の目安について、「食事動作」「更衣」「整容」「移乗動作」「車いす駆動能力」の各項目ごとに、運動レベルC5と運動レベルC6の差異がわかるよう回答用紙の表に記入しなさい。